

**高野線で活躍した6100系車両が営業運転を終了します**  
**大手私鉄では最後まで残った「パイオニア」台車がついに引退**  
**7月5日まで「さよなら6100系 パイオニア 台車 1970-2009」ヘッドマークを掲出中です**

南海電鉄（本社：大阪市中央区／社長：亘 信二）では、昭和45年から高野線で活躍した「6100系」車両の台車「パイオニア」を交換し、形式変更を実施します。

同台車は、昭和45年の導入当時としては構造が簡単で軽量、接地性も良好で、しかも乗り心地に優れる台車でした。また、ディスクブレーキを採用することで、路面の状況に関わらず常に安定したブレーキ力を維持でき、停車距離の短距離化、停止時のショックの軽減や保守の容易性など、多くのメリットを持っていました。しかし、導入からすでに数十年が経過し、乗り心地のさらなる向上やメンテナンスの観点などから、このたび別の台車に交換することになりました。

同台車を使用した車両は、他の大手私鉄でも活躍していましたが、いずれもすでに引退もしくは他社に譲渡されています。そのため、当社で現存する6両が「大手私鉄で最後まで残った、時速100km/hで駆け抜ける『パイオニア』」となっていました。

また、今回当社では、約40年にわたり使用してきました「6100系」車両と「パイオニア」台車への敬意と感謝をこめて、7月5日（日）まで『さよなら6100系 パイオニア 台車 1970-2009』ヘッドマークをつけて走行します。この機会にぜひご乗車ください。

詳細は別紙のとおりです。



「パイオニア」台車



6100系車両のヘッドマーク

<別紙>

1. 「パイオニア」台車について

- (1) 導入時期 昭和37年～
- (2) 導入実績 6000系(当時)、6100系など
- (3) 製造 東急車輛製造株式会社(米国バッド社開発)
- (4) 特徴 ディスクブレーキを採用、路面の状況に関わらず常に安定したブレーキ力を維持  
接地性がよく、軽量で高強度  
振動を軽減し、良好な乗り心地

2. 「6100系」車両について

- (1) 導入時期 昭和45年～
- (2) 現存両数 6両(電動車3両、付随車3両)
- (3) 特徴 オールステンレス製、両開扉、「パイオニア」台車使用

3. 台車更新について

6100系車両は7月6日(月)に南海電鉄千代田工場に入り、台車を更新します。更新後は「6300系」車両として運用します。

4. 最終日の運行について

始発駅	下り種別 行先	発車時刻	始発駅	上り種別 行先	発車時刻
難波	各停 河内長野行	5:06	河内長野	各停 難波行	6:01
難波	各停 河内長野行	7:02	河内長野	各停 難波行	8:12
難波	各停 河内長野行	9:14	河内長野	各停 難波行	10:25
難波	各停 河内長野行	11:26	河内長野	区急 難波行	12:40
難波	急行 橋本行	13:24	橋本	急行 難波行	15:11
難波	区急 三日市町行	16:12	三日市町	各停 難波行	16:59
難波	各停 河内長野行	18:03	河内長野	各停 難波行	19:13
難波	各停 河内長野行	20:14	河内長野	区急 難波行	21:30
難波	急行 三日市町行	22:15	三日市町	回送 千代田信号場行	22:54

**お客さまへのお願い**

沿線での写真撮影にあたっては、安全に十分留意していただきますようお願いいたします。  
駅係員、警備員の指示には従ってください。  
走行中の列車に対するフラッシュ撮影はご遠慮願います。  
当日の運転状況、車両の状態、その他の事情により急遽運転を中止もしくは変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

以上